

大学番号：私367

注3

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置

注1

届出

久留米大学大学院 医学研究科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人久留米大学  
平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部事務部庶務課

職名・氏名 課長 カヅフヲ 梶原 カツヒコ 克彦

電話番号 0942-31-7527

（夜間） 0942-35-3311

F A X 0942-31-4374

e-mail igakubu\_syomu@kurume-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

久留米大学大学院

<医学研究科看護学専攻>

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	31



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人久留米大学

## (2) 大学名

久留米大学大学院

## (3) 大学の位置

〒830-0011

福岡県久留米市旭町67番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(コウジロ マサミチ) 神代 正道 (平成23年7月)		
学長	(カガタ ケンセイ) 永田 見生 (平成24年1月)		
研究科長	(ヤノ ヒロヒサ) 矢野 博久 (平成27年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。



(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
医学研究科 看護学専攻(修士課程) 修士(看護学) 医科学専攻(修士課程) 修士(医科学)	2年	15人	30人	医学研究科  (変更前の人数25、平成28年4月、報告年度27年度)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	15 ( - ) [ - ]								1.46倍	
志願者数	25 (12) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
受験者数	23 (11) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
合格者数	23 (11) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
B 入学者数	22 (11) [ - ]	( - ) [ - ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]		
入学定員超過率 B/A	1.46									

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 22	[ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	[ - ] ( - ) 22	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	22 人	0 人	平成28年度	人	人		0 %
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
			平成31年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
			平成31年度	人	人		
平成31年度 入学者	人	人	平成31年度	人	人		%
合 計	22 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他



## 2 授業科目の概要

<医学研究科 修士課程看護学専攻>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目	人体構造学	1・2前		2								兼 3	オムニバス	
	人体機能学	1・2前		2								兼 6	オムニバス	
	臨床医学概論	1・2前		2								兼 10	オムニバス	
	社会医学概論	1・2後		1								兼 4	オムニバス	
	物理学特論	1・2後		1								兼 2		
	生物学特論	1・2前		1		1						兼 1		
	化学特論	未開講 1・2後		1								兼 1	履修希望者がいなかったため (28)	
	医学教育学	1・2前		1								兼 1		
	生命倫理Ⅰ	1・2前		1								兼 1		
	臨床遺伝学	1・2後		1								兼 2		
	移植医学	1・2後		1								兼 1		
	リハビリテーション医学	1・2後		1								兼 2		
	医学工学概論	未開講 1・2後		1								兼 7	履修希望者がいなかったため (28)	
	実験動物学	1・2後		1								兼 1		
	看護理論	1・2前		2			2					兼 1		
	看護倫理	1・2前		2			1					兼 2		
	コンサルテーション論	1・2前		2				1				兼 1		
	リサーチナース・CRC養成ユニット	1・2後		2								兼 9		
	先進的・分野特異的研究手法体験ユニット	1・2通		2								兼 1		
	看護研究方法	1・2前		2			1		1			兼 2		
	看護政策論	1・2後		2			1					兼 2		
	バイオ統計基礎ユニット	1・2前		1								兼 2	矢原耕史講師退職に伴う担当者変更 (28)	
	バイオ統計応用ユニット	1・2前		2								兼 3	矢原耕史講師退職に伴う担当者変更 (28)	
	知的財産権論	1・2後		2								兼 2		
	臨床研究入門	1・2通		2								兼 1		
	医療サービス統計論	1・2後		2								兼 2		
	医療サービス知識創造論	1・2後		2								兼 1		
医療サービス・イノベーション論	1・2後		2								兼 1			
臨床薬理学概論	1・2後		2			1					兼 4			
フィジカルアセスメント	1・2前		2			3					兼 2			
病態生理学	1・2後		2			5					兼 2			
小計 (31科目)	-		50			7	1	1			兼 65 66			
セミナーシリーズ	大学院セミナーシリーズ	1・2通	1								兼 1			
看護教育管理分野	専攻分野共通科目	看護教育管理特論Ⅰ	1・2前	2		3						兼 4		
		看護教育管理特論Ⅱ	1・2後	2		3						兼 4		
		看護教育管理学演習	1・2後	2		1	1					兼 4		
		医療情報管理学演習	1・2後	4		1		1					兼 4	教育効果を考慮し開講学期を変更 (28)
		保健科学看護特論Ⅰ	1・2前	2		1		1						
		保健科学看護特論Ⅱ	1・2後	2		1		1						
	小計 (6科目)	-		14		5	1	3				兼 5		
特別研究	教育管理学研究演習	1・2通	4			9								
	教育管理学特別研究	未開講 1・2通	4			9							履修希望者がいなかったため (28)	
	小計 (2科目)	-		8		9								
がん看護分野	専攻分野共通科目	がんと治療学	1・2前	2								兼 11 3	教育内容の専門性を考慮し担当者変更 (28)	
		がん看護学特論	1・2前	2		1						兼 1		
		がん看護援助論Ⅰ	1・2前	2		1	2 1	1				兼 2	教育内容を考慮し担当者変更 (28)	
		がん看護援助論Ⅱ	1・2後	2		2		3 2	0 1			兼 2	講師→准教授昇任に伴う変更 (28)	
		小計 (4科目)	-		8		2	2 1	3 1	0 1		兼 15 6		

がん看護分野	専攻分野	緩和ケア特論	1・2後	2		1		1		兼2	教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)		
		がん化学療法看護特論	1・2後	2		1		1		兼2		教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
		がん看護学特別研究	1・2通	4		2	1	1				兼2	教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)
		小計 (3科目)	-	8		2	1	1				兼4	
がん看護分野	実習科目	がん看護学在宅実習	1後	2		1	1	1				教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
		がん看護学実習Ⅰ	未開講 2前	4		1	1	1				配当年次に至っていないため未開講 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
		がん看護学実習Ⅱ	未開講 2後	2		1	1	1				配当年次に至っていないため未開講 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
		小計 (3科目)	-	8		1	1	1					
感染症看護分野	専攻分野専攻科目	感染病態学特論	1・2前	2		1				兼1	助教→講師昇任に伴う変更 (28)		
		感染看護学特論	1・2前	2		1		1		兼1			
		感染看護学演習Ⅰ	1・2後	2		1				兼1			
		感染看護学援助Ⅰ	1後	2		1	1	2	0				
		感染看護学援助Ⅱ	未開講 2前	2		1		1				兼1	配当年次に至っていないため未開講 (28)
		感染看護学学論	1前	2		1						兼1	
		感染看護学演習Ⅱ	1・2後	2		1						兼1	
		感染看護学特別研究	未開講 2通	4		1		1				兼1	配当年次に至っていないため未開講 (28)
	小計 (8科目)	-	18		1	1	3	0		兼7			
	感染症看護分野	実習科目	感染看護学実習Ⅰ	1・2後	4		1		1				
感染看護学実習Ⅱ			1・2後	2		1		1					
国際感染看護学実習Ⅰ			1・2前 2前	2		1		1			兼1	教育効果を考慮し開講時期を変更 (28)	
国際感染看護学実習Ⅱ			2後	4		1		1			兼2		
小計 (4科目)			-	12		1		1			兼2		
老年看護分野	専攻分野共通科目	高齢者病態論	1・2前	2		1				兼5	教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)		
		老年看護学特論	1・2前	2		1	1			兼1			
		高齢者生活支援論	1・2前	2		1	0	1		兼2		教育内容の専門性を考慮し担当者変更 (28)	
		高齢者家族関係論	1・2後	2		1	1	1		兼1		教育内容の専門性を考慮し担当者変更 (28)	
		高齢者サポートシステム論	後 1・2前	2		1	1	1		兼1		教育効果を考慮し開講時期を変更 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
	小計 (5科目)	-	10		2	2	3		兼10				
	老年看護分野	専攻分野専攻科目	老年看護援助論	1・2後	2		1	1			兼2	教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
			認知症高齢者看護論	1・2前	2		1		1		兼2	教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
			老年看護学特別研究	1・2通	4		1	1	2				
			小計 (3科目)	-	8		1	1	2		兼4		
老年看護分野	実習科目	老年看護学実習Ⅰ	1・2通	3		1	1	1			教育内容の専門性を考慮し担当者変更 (28)		
		老年看護学実習Ⅱ	1・2通	3		1	2	1					
		小計 (2科目)	-	6		1	2	1					
小児看護分野	専攻分野共通科目	小児看護学特論Ⅰ	1前	2		1		0			担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)		
		小児看護学特論Ⅱ	後 1前	2		1		1		兼1		担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)	
		小児看護学特論Ⅲ	未開講 2通	1		1	1	1	1				配当年次に至っていないため未開講 (28) 担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)
		小児看護対象論	1後	2		1		0	1				担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)
		小児看護援助論Ⅰ	1前	1		1							
		小児看護援助論Ⅱ	後 1通	2		1	1						
		小児看護援助論Ⅲ	未開講 2通	2		1		0	1			兼1	配当年次に至っていないため未開講 (28) 担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)



小児看護分野	実習科目	小児診断治療学	未開講 1通	2						兼 15	履修希望者がいなかったため (28)	
		小児看護学特別研究	1・2通	4	1							
		小計 (9科目)	—	18	1	2	1	2	1	兼 17		
		小児看護学実習Ⅰ	1後	2	1		0	1		兼 1	担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)	
		小児看護学実習Ⅱ	1後・2前	2	1		0	1		兼 1	担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)	
		小児看護学実習Ⅲ	未開講 2前	2	1		0	1		兼 1	配当年次に至っていないため未開講 (28) 担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)	
		小児看護学実習Ⅳ	未開講 2前	2	1		0	1		兼 1	配当年次に至っていないため未開講 (28) 担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)	
小児看護学実習Ⅴ	未開講 2後	2	1		0	1		兼 1	配当年次に至っていないため未開講 (28) 担当者産休・育児休業に伴い担当者変更 (28)			
小計 (5科目)	—	10	1		0	1		兼 1				
助産学分野	基礎助産学	助産学概論	1前	2	1	1	1					
		ウィメンズヘルズ特論	1前	2	1	1	1					
		助産と生殖科学	1前	2	0	4				兼 4	申請時に誤って専任としていたため変更 (28)	
		小計 (3科目)	—	6	1	5	1	1		兼 4	教育内容の専門性を考慮し担当者変更 (28)	
	助産学診断・技術学	助産学特論Ⅰ	1前	2	1	2	1	1		兼 1	申請時に誤って専任としていたため変更 (28)	
		助産学特論Ⅱ	1前	2	1	2	1	1		兼 1	申請時に誤って専任としていたため変更 (28)	
		助産学特論Ⅲ	後 1通	2	1	1	1	1		兼 1	教育効果を考慮し開講時期を変更 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
		助産学特論Ⅳ	後 1通	2	1	1	1	1		兼 1	教育効果を考慮し開講時期を変更 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
		小計 (4科目)	—	8	1	2	1	1	1	兼 1		
	子地域保健	地域母子保健特論	1前	1	2	1	1					
		小計 (1科目)	—	1	2	1	1					
	管理助産	助産マネジメント論	1後	2	1	1	1			兼 1		
		小計 (1科目)	—	2	1	1	1			兼 1		
	助産学基礎実習	助産学基礎実習Ⅰ	1後・2前	8	1	1	1	1				教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)
		助産学基礎実習Ⅱ	1後・2前	2	1	1	1	1				教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)
		地域助産学実習	未開講 2前	1	1	1	1	1				配当年次に至っていないため未開講 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)
		小計 (3科目)	—	11	1	1	1	1				
	助産学分野専門科目	周産期医療システム論	未開講 2後	1	1	2	1	1		兼 1	配当年次に至っていないため未開講 (28) 申請時に誤って専任としていたため変更 (28)	
		ヒューマンセクシュアリティ論	1前	1	1	1	1					
		ハイリスク周産期論	1前	1	0	1	0			兼 2	申請時に誤って専任としていたため変更 (28)	
母子の心理・社会学		1後	1	1	2	1						
高次助産診断・技術演習Ⅰ		1後	2	2	3	1	1	1	兼 1	申請時に誤って専任としていたため兼任に変更 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)		
高次助産診断・技術演習Ⅱ		1後	1	1	2	1	2	1	兼 2	申請時に誤って専任としていたため兼任に変更 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)		
ウィメンズヘルズ演習		1後	1	1	1	1	1	1			教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
国際助産学演習		1・2通	1	1	1	1			兼 1			
ハイリスク周産期実習Ⅰ		未開講 2前	2	1	1	1	1	1			配当年次に至っていないため未開講 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
ハイリスク周産期実習Ⅱ		1後	2	1	1	1	1	1			教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
上級実践助産学実習		未開講 1・2通	2	1	1	1	1	1			履修希望者がいないため未開講 (28) 教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
小計 (11科目)		—	15	3	3	1			兼 3			
特別研究		助産学研究演習	1・2通	4	1	1	1					教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)
	助産学特別研究	未開講 1・2通	4	1	1	1					教育内容の専門性を考慮し担当者追加 (28)	
	小計 (2科目)	—	8	1	1	1						
合計 (111科目)			—	0	230	0	9	5	8	2	0	兼 114 100

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目 111	科目	科目 111	科目	科目	科目	科目	
				[ ]	[ ]	[ ]	[ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{111} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。





### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学設置基準上、「校地」に算入される大学用地の考え方にに基づき、精査を行ったため(28)			
	校舎敷地	220,462.04㎡ <del>226,908.42㎡</del>	2,175.88㎡ <del>0.00㎡</del>	675.04㎡	223,312.96㎡ <del>227,583.46㎡</del>				
	運動場用地	81,911.53㎡ <del>70,706.30㎡</del>	32,465.00㎡	0.00㎡	114,376.53㎡ <del>103,171.30㎡</del>				
	小 計	302,373.57㎡ <del>297,614.72㎡</del>	34,640.88㎡ <del>32,465.00㎡</del>	675.04㎡	337,689.49㎡ <del>330,754.76㎡</del>				
	そ の 他	181,000.16㎡ <del>147,346.66㎡</del>	0.00㎡	0.00㎡	181,000.16㎡ <del>147,346.66㎡</del>				
	合 計	483,373.73㎡ <del>444,961.38㎡</del>	34,640.88㎡ <del>32,465.00㎡</del>	675.04㎡	518,689.65㎡ <del>478,101.42㎡</del>				
(2) 校 舎	専 用	129,848.72㎡ <del>125,182.84㎡</del> (126,511.81㎡)	2,838.18㎡  (2,838.18㎡)	3,025.65㎡ <del>2,686.65㎡</del> (3,025.65㎡)	135,712.55㎡ <del>130,707.67㎡</del> (132,375.64㎡)	臨検校と共用			
	共用								
(3) 教 室 等	講 義 室	19室	41室	31室	2室 (補助職員 0人)	1室 (補助職員 1人)			
	演 習 室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	医学研究科修士課程看護学専攻			18 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書・学術雑誌・視聴覚資料は学科単位での特定不能なため、医学部全体の数。	
	医学研究科修士課程看護学専攻	276,820 [123,977] (273,629 [123,564])	4,037 [2,341] (4,080 [2,324])	5,653 [4,324] (5,524 [4,337])	1,199 (1,450)	1,314 (1,314)	206 (206)		
	計	276,820 [123,977] (273,629 [123,564])	4,037 [2,341] (4,080 [2,324])	5,653 [4,324] (5,524 [4,337])	1,199 (1,450)	1,314 (1,314)	206 (206)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		臨検校と共用		
	2838.18㎡		218		384,250				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	2,009.66㎡		ソフトボール場、テニスコート、25mプール、弓道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	専任教員の変更に伴い教員1人当り研究費等の変更(28) 図書購入費・設備購入費は当初予算額を記入していたが執行額に変更したため(28)
		教員1人当り研究費等	591千円 <del>602千円</del>	591千円 <del>602千円</del>	図書購入費	6,212千円 <del>6,000千円</del>	6,000千円	6,000千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	26,399千円 <del>35,225千円</del>	0千円	393千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		900千円	660千円	千円	千円	千円	千円	千円	修士論文コース・CNS養成コース 他学卒
		780千円	660千円	千円	千円	千円	千円	千円	修士論文コース・CNS養成コース 本学卒
		1,340千円	1,100千円	千円	千円	千円	千円	千円	助産師資格取得コース 他学卒
		1,220千円	1,100千円	千円	千円	千円	千円	千円	助産師資格取得コース 本学卒
960千円		720千円	千円	千円	千円	千円	千円	助産師上級実践コース 他学卒	
840千円	720千円	千円	千円	千円	千円	千円	助産師上級実践コース 本学卒		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。

- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	久留米大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
比較文化研究科 前期博士課程 比較文化専攻	2	30	-	60	修士 (文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、学術)	0.63 0.63	平成元年度	福岡県久留米市御井町1635番地	
後期博士課程 比較文化専攻	3	12	-	36	博士 (文学、社会学、保健福祉学、法学、政治学、経済学、商学、学術)	0.44 0.44	平成3年度	同上	
心理学研究科 前期博士課程 臨床心理学専攻	2	15	-	30	修士(臨床心理学)	0.67 0.94	平成13年度	同上	
人間行動心理学専攻	2	5	-	10	修士(心理学)	0.40	平成13年度	同上	
後期博士課程 心理学専攻	3	5	-	15	博士(心理学)	0.47 0.47	平成13年度	同上	
ビジネス研究科 修士課程 ビジネス専攻	2	12	-	24	修士(商学、経営学)	0.42 0.42	平成17年度	同上	
医学研究科 修士課程 医科学専攻	2	10	-	35	修士(医学科)	1.16 0.87	平成13年度	福岡県久留米市旭町67番地	平成28年度より定員減△15
看護学専攻	2	15	-	30	修士(看護学)	1.46	平成28年度		
博士課程 生理系専攻	4	4	-	16	博士(医学)	0.88 1.06	昭和31年度	同上	
病理系専攻	4	3	-	12	博士(医学)	1.25	昭和31年度	同上	
社会医学系専攻	4	8	-	32	博士(医学)	0.53	昭和31年度	同上	
個人別最適医療系専攻	4	20	-	80	博士(医学)	0.71	平成15年度	同上	
法科大学院 法務研究科 法務専攻	3	-	-	-	法務博士(専門職)	-	平成16年度	福岡県久留米市御井町1635番地	平成27年度より学生募集停止
文学部 心理学科	4	88	3年次 3	357	学士(心理学)	1.16 1.16	平成14年度	同上	平成25年度より文学部、法学部、経済学部及び商学部においては、収容定員の範囲内
情報社会学科	4	63	3年次 2	255	学士(社会学)	1.10	平成14年度	同上	



国際文化学科	4	107	3年次 6	437	学士 (文学)	1.21	平成4年度	同上	で、入学及び編入学定員の変更を実施した。  法学部は、2年次から法律学科と国際政治学科とに分かれて進級する。  経済学部は、2年次から経済学科と文化経済学科とに分かれて進級する。
社会福祉学科	4	101	3年次 5	413	学士(社会 福祉学)	1.19	平成12年度	同上	
法学部				1,262		1.05			
法律学科	4	234	3年次 15		学士 (法学)		昭和62年度	同上	
国際政治学科	4	74	-		学士 (法学)		平成6年度	同上	
経済学部				1,056		1.19			
経済学科	4	160	3年次 5		学士 (経済学)		平成6年度	同上	
文化経済学科	4	99	3年次 5		学士 (経済学)		平成14年度	同上	
商学部						1.07			
商学科	4	265	-	1,055	学士 (商学)	1.07	昭和25年度	同上	
医学部						1.08			
医学科	6	115	-	690	学士 (医学)	1.01	昭和27年度	福岡県久留米市 旭町67番地	平成22年度より、入学定員を110名から115名へ変更
看護学科	4	100	-	400	学士 (看護学)	1.16	平成6年度	福岡県久留米市 東櫛原町777番地1	

(注意) 課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)

(注意) 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<医学研究科 看護学専攻（修士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考			
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)		就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	中島 洋子 (62)	平成28年4月	看護理論 病態生理学 老年看護学特論 高齢者生活支援論 高齢者家族関係論 高齢者サポートシステム論 認知症高齢者看護論 老年看護学特別研究 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 看護教育管理特論Ⅰ 看護教育管理特論Ⅱ 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究						履修希望者がいないため未開講 (28) 老年看護援助論 担当者追加 (28)	
専	教授	中嶋 カツ子 (63)	平成28年4月	助産学概論 ワイメンズヘルステクニク 助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 助産学特論Ⅲ 助産学特論Ⅳ 地域母子保健特論 助産マネジメント論 助産学基礎実習Ⅰ 助産学基礎実習Ⅱ 地域助産学実習 周産期医療システム論 ヒューマンセクシュアリティ論 母子の心理・社会学 高次助産診断・技術演習Ⅰ 高次助産診断・技術演習Ⅱ ワイメンズヘルズ演習 国際助産学演習 ハイリスク周産期実習Ⅰ ハイリスク周産期実習Ⅱ 上級実践助産学実習 助産学特別研究 助産学研究演習 看護教育管理特論Ⅰ 看護教育管理特論Ⅱ 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
専	教授 (専任)	三橋 睦子 (58)	平成28年4月	看護研究方法 フィジカルアセスメント 病態生理学 がん看護援助論Ⅱ 感染病態学特論 感染看護学特論 感染看護学援助論Ⅰ 感染看護学援助論Ⅱ 感染看護学論 感染看護学特別研究 感染看護学演習Ⅰ 感染看護学演習Ⅱ						配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28)	

				感染症看護学実習Ⅰ 感染症看護学実習Ⅱ 国際感染症看護学実習Ⅰ 国際感染症看護学実習Ⅱ 高次助産診断・技術実習Ⅰ 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							配当年次に至っていないため未開講 (28)
専	教授	森本 紀巴子 (58)	平成28年4月	看護教育管理特論Ⅰ 看護教育管理特論Ⅱ 看護教育管理学演習 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							履修希望者がいないため未開講 (28)
専	教授	綾部 光芳 (58)	平成28年4月	フィシカルアセスメント 病態生理学 高齢者病態論 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							履修希望者がいないため未開講 (28)
専	教授	犬塚 裕樹 (61)	平成28年4月	生物学特論 医療情報管理学演習 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							履修希望者がいないため未開講 (28)
専	教授	西田 和子 (63)	平成28年4月	看護政策論 保健科学看護特論Ⅰ 保健科学看護特論Ⅱ 地球母子保健特論 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							履修希望者がいないため未開講 (28)
専	教授	原 頼子 (57)	平成28年4月	病態生理学 がん看護学特論 がん看護援助論Ⅰ がん看護援助論Ⅱ 緩和ケア特論 がん化学療法看護特論 がん看護学特別研究 がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ がん看護学在宅実習 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
専	教授	益守 かづき (51)	平成28年4月	看護理論 看護倫理 臨床薬理学概論 フィシカルアセスメント がん看護学特別研究 小児看護学特論Ⅰ 小児看護学特論Ⅱ 小児看護学特論Ⅲ 小児看護対象論 小児看護援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 小児看護援助論Ⅲ 小児看護学特別研究 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ 小児看護学実習Ⅲ 小児看護学実習Ⅳ 小児看護学実習Ⅴ 教育管理学研究演習 教育管理学特別研究							配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
				感染症看護学援助論Ⅰ 小児看護援助論Ⅱ 助産学概論 ウィメンズヘルステ論							病態生理学 申請時記載漏れ (28)



専	准教授	田中 佳代 (50)	平成28年4月	助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 助産学特論Ⅲ 助産学特論Ⅳ 地域母子保健特 助産マネジメント 助産学基礎実習 Ⅰ 助産学基礎実習 Ⅱ 地域助産学実習 周産期医療シス テム論 ヒューマンセク シュアリティ論 母子の心理・社 会学 高次助産診断・ 技術演習Ⅰ 高次助産診断・ 技術演習Ⅱ ウィメンズヘル ス演習 国際助産学演習 ハイリスク周産 期実習Ⅰ ハイリスク周産 期実習Ⅱ 上級実践助産学 実習						配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28) 助産学研究演習 担当者追加 (28) 助産学特別研究 担当者追加 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
専	准教授	古村 美津代 (54)	平成28年4月	老年看護学特論 高齢者生活支援 論 老年看護援助論 老年看護学特別 研究 老年看護学実習 Ⅰ 老年看護学実習 Ⅱ	兼任	非常勤 講師	秋吉 知子 (40)	平成28年4月	高齢者生活支援論 高齢者サポートシステム論	担当者変更 (28) 担当者追加 (28)
専	准教授	舞弓 京子 (50)	平成28年4月	コンサルテー ション論 老年看護学実習 Ⅱ 小児看護学特論 Ⅲ 母子の心理・社 会学						配当年次に至っていないため未開講 (28)
専	准教授	加悦 美恵 (44)	平成28年4月	看護教育管理學 演習 がん看護援助論 Ⅰ						
専	講師	加藤 陽子 (40)	平成28年4月	助産学概論 ウィメンズヘル ス特論 助産学特論Ⅰ 助産学特論Ⅱ 助産学特論Ⅲ 助産学特論Ⅳ 地域母子保健特 助産マネジメント 助産学基礎実習 Ⅰ 助産学基礎実習 Ⅱ 地域助産学実習 周産期医療シス テム論 ヒューマンセク シュアリティ論 母子の心理・社 会学 高次助産診断・ 技術演習Ⅰ 高次助産診断・ 技術演習Ⅱ ウィメンズヘル ス演習 国際助産学演習 ハイリスク周産 期実習Ⅰ ハイリスク周産 期実習Ⅱ 上級実践助産学 実習						配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28) 助産学研究演習 担当者追加 (28) 助産学特別研究 担当者追加 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
専	講師	河原田 康貴 (42)	平成28年4月	がん看護援助論Ⅱ						
専	講師	栂 勇三郎 (41)	平成28年4月	看護研究方法 高齢者サポ ート システム論 老年看護学特別 研究 医療情報管理學 演習 感染看護学特論						



専	講師	佐藤 祐佳 (41)	平成28年4月	感染症看護学助 論Ⅰ 感染症看護学助 論Ⅱ 感染症看護学特 別研究 感染症看護学実 習Ⅰ 感染症看護学実 習Ⅱ 保健科学看護特 論Ⅰ					配当年次に至っていないため未開講 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28)	
専	講師	藤田 史恵 (40)	平成28年4月	小児看護学特論 Ⅰ 小児看護学特論 Ⅱ 小児看護学特論 Ⅲ 小児看護対象論 小児看護援助論 Ⅰ 小児看護学実習 Ⅰ 小児看護学実習 Ⅱ 小児看護学実習 Ⅲ 小児看護学実習 Ⅳ 小児看護学実習 Ⅴ	専	助教	大内田 慶子 (32)	平成28年4月	小児看護学特論Ⅲ	産休・育休 (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28) 担当者変更 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28)
専	講師	松浦 由美子 (55)	平成28年4月	がん看護援助論 Ⅰ	専	講師	姫野 深雪 (46)	平成28年4月	がん看護援助論Ⅱ	担当者変更 (28)
専	講師	桐明 あゆみ (48)	平成28年4月	がん看護援助論 Ⅰ がん看護学特別 研究 高齢者家族関係 論 老年看護学実習 Ⅰ		准教授				平成28年4月 昇任 (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28)
専	講師	猪谷 生美 (47)	平成28年4月	小児看護学特論 Ⅰ 小児看護学特論 Ⅱ 保健科学看護特 論Ⅱ						配当年次に至っていないため未開講 (28)
専	講師	平原 直子 (41)	平成28年4月	高齢者家族関係 論	専	講師	西田 志穂 (50)	平成28年4月	高齢者家族関係論	平成28年3月・平原直子・自己都合によ る退職 (28) 担当者変更 (28)
専	講師	草場 知子 (40)	平成28年4月	高齢者生活支援 論 老年看護学実習 Ⅰ 老年看護学実習 Ⅱ						認知症高齢者看護論 担当者追加 (28) 老年看護学特別研究 担当者追加 (28)
専	講師				専	講師	姫野 深雪 (46)	平成28年4月	がん看護援助論Ⅰ 緩和ケア特論 がん化学療法看護特 論 がん看護学特別研究 がん看護学在宅実習 がん看護学実習Ⅰ がん看護学実習Ⅱ	担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28) 担当者追加 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28)
専	助教	水落 裕美 (36)	平成28年4月	小児看護対象論 小児看護援助論 Ⅲ						配当年次に至っていないため未開講 (28) 小児看護学特論Ⅲ 担当者追加 (28) 小児看護学実習Ⅰ 担当者追加 (28) 小児看護学実習Ⅱ 担当者追加 (28) 小児看護学実習Ⅲ 担当者追加 (28) 小児看護学実習Ⅳ 担当者追加 (28) 小児看護学実習Ⅴ 担当者追加 (28)
専	助教	西田 志穂 (50)	平成28年4月	がん看護援助論 Ⅱ 感染症看護学助 論Ⅰ		講師				H28年4月 昇任 (28)
					専	助教	大内田 慶子 (32)	平成28年4月	助産学特論Ⅲ 助産学特論Ⅳ 高次助産診断・技術 演習Ⅰ 高次助産診断・技術 演習Ⅱ ワイメンズヘルス演 習 助産学基礎実習Ⅰ 助産学基礎実習Ⅱ 地域助産学実習	担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 担当者追加 (28) 配当年次に至っていないため未開講







					兼任	講師	東 公一 (42)	平成28年4月	がんと治療学	担当者追加 (28)
					兼任	講師	進 武一郎 (39)	平成28年4月	がんと治療学	担当者追加 (28)
兼任	助教	関 律子 (44)	平成28年4月	がんと治療学						
兼任	助教	土田 耕一郎 (50)	平成28年4月	小児診断治療学	兼任	助教	中川 慎一郎 (45)	平成28年4月	小児診断治療学	担当者変更 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
兼任	助教	大園 秀一 (45)	平成28年4月	小児診断治療学						履修希望者がいないため未開講 (28)
兼任	助教	岡松 由記 (41)	平成28年4月	小児診断治療学						履修希望者がいないため未開講 (28)
兼任	助教	工藤 嘉公 (39)	平成28年4月	小児診断治療学	兼任	助教	岸本 慎太郎 (39)	平成28年4月	小児診断治療学	担当者変更 (28) 履修希望者がいないため未開講 (28)
兼任	助教	田中 征治 (42)	平成28年4月	小児診断治療学						履修希望者がいないため未開講 (28)
兼任	助教	後藤 憲志 (37)	平成28年4月	小児診断治療学						履修希望者がいないため未開講 (28)
兼任	助教	首藤 隆秀 (39)	平成28年4月	臨床薬理学概論		講師				平成28年4月 昇任 (28)
兼任	助教	佃 康司 (28)	平成28年4月	バイオ統計応用 ユニット バイオ統計基礎 ユニット						平成28年3月 退職 (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28) 他の担当教員がいるため支障はない (28)
兼任	助教	堀之内 崇士 (40)	平成28年4月	臨床遺伝学						
兼任	助教	竹下 弘伸 (36)	平成28年4月	医学工学概論						履修希望者がいないため未開講 (28)
					兼任	助教	西尾 真 (42)	平成28年4月	がんと治療学	担当者追加 (28)
					兼任	助教	中島 慎治 (36)	平成28年4月	がんと治療学	担当者追加 (28)
兼任	客員 教授	荒木 賢二 (57)	平成28年4月	医療サービス・イノ ベーション論						
兼任	客員 教授	上野 隆登 (64)	平成28年4月	リサーチナース・C R C養成ユニット						
兼任	客員 教授	柳川 堯 (75)	平成28年4月	リサーチナース・C R C 養成ユニット	兼任	教授	角間 辰之 (60)	平成28年4月	リサーチナース・C R C養成ユニット	担当者変更 (28)
兼任	客員 教授	池田 満 (54)	平成28年4月	医療サービス知 識創造論						
					兼任	客員 教授	森田 喜一郎 (65)	平成28年4月	高齢者病態論	担当者追加 (28)
									認知症高齢者看護論	担当者追加 (28)
兼任	非常勤 講師	塗木 京子 (49)	平成28年4月	がん看護援助論 I がん看護援助論 II	兼任	非常勤 講師	原 美穂 (40)	平成28年4月	がん看護援助論 II	担当者変更 (28)
兼任	非常勤 講師	物部 千穂 (40)	平成28年4月	緩和ケア特論 がん看護援助論 I がん看護援助論 II がん化学療法看護 特論 看護教育管理特 論 II 看護教育管理学 演習						
兼任	非常勤 講師	井上 久子 (58)	平成28年4月	看護教育管理特 論 II 看護教育管理学 演習						
兼任	非常勤 講師	吉川 朱美 (50)	平成28年4月	看護教育管理特 論 II 看護教育管理学 演習						
兼任	非常勤 講師	三浦 比呂子 (58)	平成28年4月	看護教育管理特 論 II 看護教育管理学 演習						
兼任	非常勤 講師	大内田 昭信 (65)	平成28年4月	リサーチナース・C R C養成ユニット						
兼任	非常勤 講師	兒玉 尚子 (53)	平成28年4月	看護教育管理学 演習						
兼任	非常勤 講師	宇佐美 しおり (52)	平成28年4月	コンサルテー ション論						
兼任	非常勤 講師	鎌田 久美子 (60)	平成28年4月	看護政策論	兼任	非常勤 講師	森松 薫 (56)	平成28年4月	看護政策論	担当者変更 (28)
兼任	非常勤 講師	岩澤 和子 (60)	平成28年4月	看護政策論						
兼任	非常勤 講師	荒谷 秀和 (56)	平成28年4月	リサーチナース・C R C養成ユニット						
兼任	非常勤 講師	上杉 和美 (48)	平成28年4月	緩和ケア特論						
兼任	非常勤 講師	森田 敏子 (67)	平成28年4月	看護理論						



兼任	非常勤講師	中尾 久子 (60)	平成28年4月	看護倫理										
兼任	非常勤講師	牧本 清子 (64)	平成28年4月	感染症看護学論										
兼任	非常勤講師	本山 清美 (50)	平成28年4月	がん化学療法看護学										
兼任	非常勤講師	荒戸 照世 (54)	平成28年4月	リサーチナーズ・CRC養成ユニット										
兼任	非常勤講師	伊藤 恭子 (44)	平成28年4月	感染症看護学援助論II										
兼任	非常勤講師	秋吉 知子 (34)	平成28年4月	老年看護援助論										
兼任	非常勤講師	鈴木 志津枝 (62)	平成28年4月	がん看護学特論										
兼任	非常勤講師	濱田 裕子 (55)	平成28年4月	小児看護学特論II										
兼任	非常勤講師	谷口 初美 (61)	平成28年4月	国際看護学演習										
兼任	非常勤講師	信友 智子 (57)	平成28年4月	助産マネジメント論										
兼任	非常勤講師	角田 直枝 (54)	平成28年4月	看護教育管理特論II										
					兼任	非常勤講師	鎌田 晃子 (36)	平成28年4月	小児看護援助論III	担当者変更 (28) 配当年次に至っていないため未開講 (28)				
					兼任	非常勤講師	吉岡 佐知子 (48)	平成28年4月	老年看護学特論	申請時の担当者記載漏れ (28)				
					兼任	非常勤講師	福嶺 初美 (50)	平成28年4月	高齢者家族関係論	担当者追加 (28)				
					兼任	非常勤講師	立清 江三子 (60)	平成28年4月	感染症看護学援助論II	担当者追加 (28)				
					兼任	非常勤講師	飯山 有紀 (40)	平成28年4月	高齢者生活支援論	担当者追加 (28)				
					兼任	非常勤講師	西山 みどり (47)	平成28年4月	高齢者サポートシステム論	担当者追加 (28)				
									老年看護援助論	担当者追加 (28)				

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

## (2) 専任教員数等

### (2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	4	10	2	25	9	5	8	2	24	9	5	8	2	24
(9)	(5)	(8)	(2)	(24)		4	10		25	[ 0 ]	[ 1 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ Δ1 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
9	14	2			9	13	2			9	13	2		
(9)	(13)	(2)								[ 0 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65(教授)	0	0
60(教授以外)		
歳	名	名

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
  - ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	講師	松清 由美子	選択	がん看護援助論Ⅱ	①	担当者変更のため(28)				
2	講師	平原 直子	選択	高齢者家族関係論	①	自己都合による退職のため(28)				
合計(A)					後任補充状況の集計(B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	—	科目	必修	—	科目	必修	—	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	—	科目
		自由	—	科目	自由	—	科目	自由	—	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	—	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計(C)					後任補充状況の集計(D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
	人			科目		科目		科目		科目
				科目		科目		科目		科目
				科目		科目		科目		科目
				科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(A) + (C)				後任補充状況の集計(B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
2	人	必修	—	科目	必修	—	科目	必修	—	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	—	科目
		自由	—	科目	自由	—	科目	自由	—	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	—	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当科目については、別の専任教員が担当するため支障はきたさない。  
学生へは、配布するシラバスに記載することで周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください





## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時				
設置計画履行状況 調 査 時				
設置計画履行状況 調 査 時				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）



## 7 その他全般的事項

<医学研究科 修士課程看護学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。  
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 委員会の設置状況<ul style="list-style-type: none"><li>・ 大学院医学研究科委員会</li></ul></li><li>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）<ul style="list-style-type: none"><li>・ 定例：1回/月、臨時：随時（大学院医学研究科委員会：医学研究科の教授をもって構成。）</li></ul></li><li>c 委員会の審議事項等<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学生の入学及び課程の修了に関する事項</li><li>・ 学位の授与に関する事項</li><li>・ 教育課程の編成に関する事項</li><li>・ 教員の教育研究業績の審査に関する事項</li><li>・ 人事に関する事項</li><li>・ 研究及び教授に関する事項</li><li>・ 試験に関する事項</li><li>・ 学生の休学、復学、退学及び転学に関する事項</li><li>・ 賞罰に関する事項</li><li>・ その他研究科に関する重要事項</li></ul></li></ul> <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"><li>a 実施内容<ul style="list-style-type: none"><li>① 論文作成に関わる講演会</li><li>② 医学教育ワークショップ</li><li>③ 看護学ワークショップ</li></ul></li><li>b 実施方法<ul style="list-style-type: none"><li>① 『論文作成に関わる講演会』 ネイティブの講師を招き、英文論文作成について講演会を行った。</li><li>② 『医学教育ワークショップ』 「研究指導の向上と学位授与のアップツーデート」のテーマのもと、大学院が抱える問題点について検討を行った。</li><li>③ FD委員会企画による教員のワークショップを実施し、教員の資質向上に努めている。</li></ul></li><li>c 開催状況（教員の参加状況含む）<ul style="list-style-type: none"><li>① 随時</li><li>② 隔年開催（医学教育ワークショップ）</li><li>③ 毎年開催（看護学ワークショップ）</li></ul></li></ul>
---

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

『医学教育ワークショップ』での提言を受け研究計画書を毎年提出させることにより、細かな研究指導を行うこととした。

また、博士課程において研究進捗状況の発表会を行うことで多角的な意見を出し合い研究計画をよりスムーズに修正できるようにした。なお、発表会は単位化を行った。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

有（平成23年度）

b 教員や学生への公開状況，方法等

HPに掲載

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本医学研究科では、『高度専門職業人及び幅広い職業人の育成』をビジョンとし、看護の発展に向けた教育・研究活動の一層の充実を図るため、看護学専攻を設置し、教育者、研究者を育成するために【看護教育管理分野】を、主として高度専門職業人を育成するために【がん看護分野】【感染症看護分野】【老年看護分野】【小児看護分野】を、助産師養成のために【助産学分野】を配置した。

初年度となる2016年度の看護学専攻における入学志願者は25名、合格者23名、入学者22名と医科学専攻の前年より格段に増員した。これは、看護学の高等教育研究機関としての組織体制の整備及び可視化についての一定の評価と推察される。現在、これらの大学院生に、新たな看護理論や看護技術、看護方法、看護システムを創出する能力を有する研究者及び、これらの研究的能力を基盤とした教育者の育成を目指しカリキュラムを遂行している。また、高度専門職業人育成においては、専門的な教育、相談、研究、調整、倫理調整等の看護実践力の養成を推進していくため、現在の26単位制から、38単位制カリキュラムへの移行を視野に準備段階である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成28年10月末 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成28年10月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成32年度に評価機関（大学基準協会）の評価受審予定。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

( 有 ・ 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成28年7月1日)



## ○久留米大学大学院医学研究科委員会規程

〔平成20年7月25日〕  
規程 第20-2号

- 第1条 大学院医学研究科（以下「研究科」という。）に研究科委員会（以下「委員会」という。）を置く。
- 第2条 委員会は、医学研究科の教授をもって構成する。
- 2 海外旅行中の者及び休職中の者は、研究科委員会構成員に算入しない。
- 第3条 委員会の委員長は、久留米大学大学院医学研究科科長が兼ねるものとする。
- 2 委員長に事故あるときは、研究科長があらかじめ指名したものが、議長の職務を行う。
- 第4条 委員会は、次の事項について、久留米大学大学院学則（以下「学則」という。）第37条第2項に基づき取り扱うものとする。
- (1) 学生の入学及び課程の修了に関する事項
  - (2) 学位の授与に関する事項
  - (3) 教育課程の編成に関する事項
  - (4) 教員の教育研究業績の審査に関する事項
- 2 委員会は、前項に規定するもののほか、次の事項について、学則第37条第3項に基づき取り扱うものとする。
- (1) 人事に関する事項
  - (2) 研究及び教授に関する事項
  - (3) 試験に関する事項
  - (4) 学生の休学、復学、退学及び転学に関する事項
  - (5) 賞罰に関する事項
  - (6) その他研究科に関する重要事項
- 第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 2 委員長が必要と認めるときは、研究科担当及び学部所属の教員を委員会に出席させることができる。
- 3 委員会を開くには、少なくとも会議の2日前までに構成員に対し、会議の議題、日時及び場所を通知しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りでない。
- 第6条 委員会は、構成員の過半数の出席がなければ開くことができない。ただし、第4条第1項第2号及び第2項第1号の事項に関しては、構成員の3分の2以上の出席がなければならない。
- 第7条 委員会の審議は、出席者の過半数の同意がなければ決することができない。ただし、第4条第1項第2号及び第2項第1号の事項に関しては、出席者の3分の2以上の同意がなければならない。
- 2 前項の場合において、議長の教授としての議決権は制限せず、可否同数のとき

は議長が決する。

第8条 委員会に研究科の円滑な運営を図るため、大学院医学小委員会（以下「小委員会」という。）を置く。

第9条 委員会及び小委員会に関する事務は、医学部事務部において処理する。

附 則

この規程は、平成20年8月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。